

萩城下町重要要素構成図



慶安 5 年 (1652) 絵図に描かれた萩城



元文年間 (1736~1740) 絵図に描かれた御船倉付近



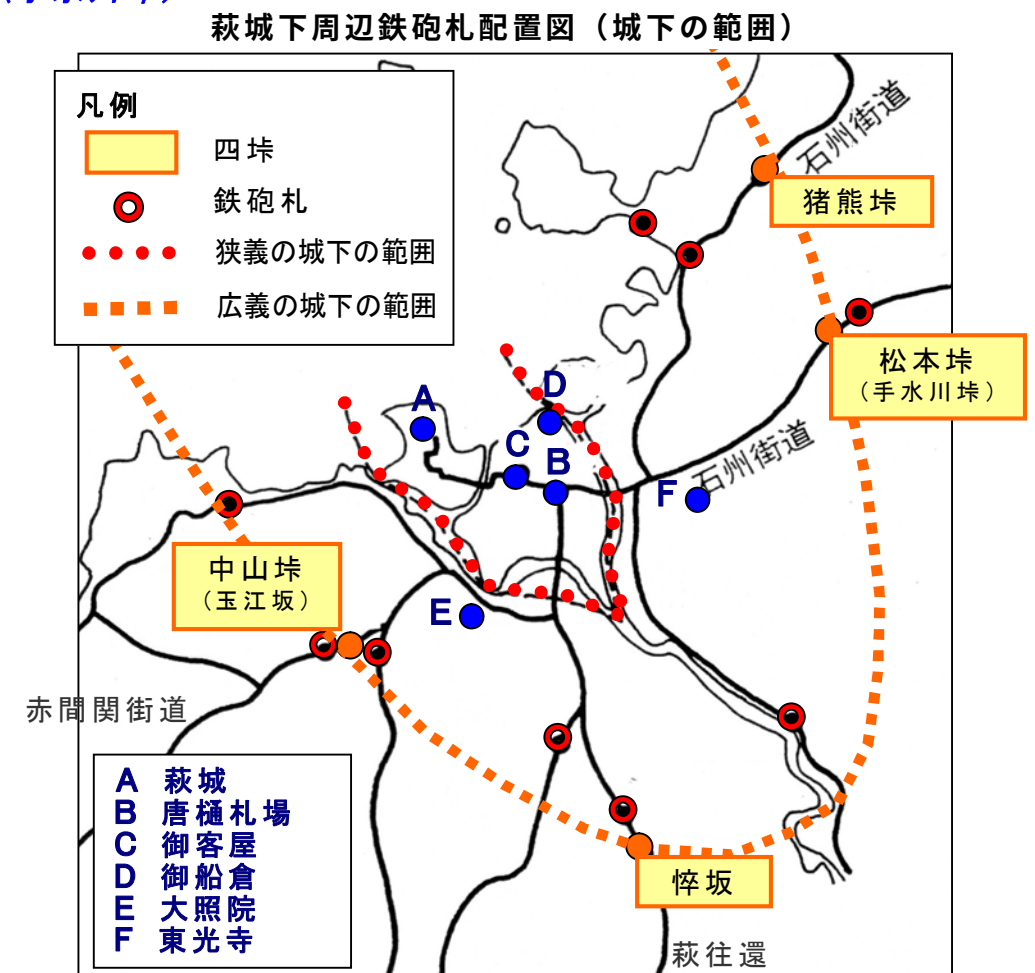
石州街道
(石見国仏坂への道筋)
猪熊峠へ

石州街道
(石見国津和野への道筋)
松本峠 (手水川峠) へ

萩往還
(周防国三田尻への道筋)
かせがさか
倅坂へ

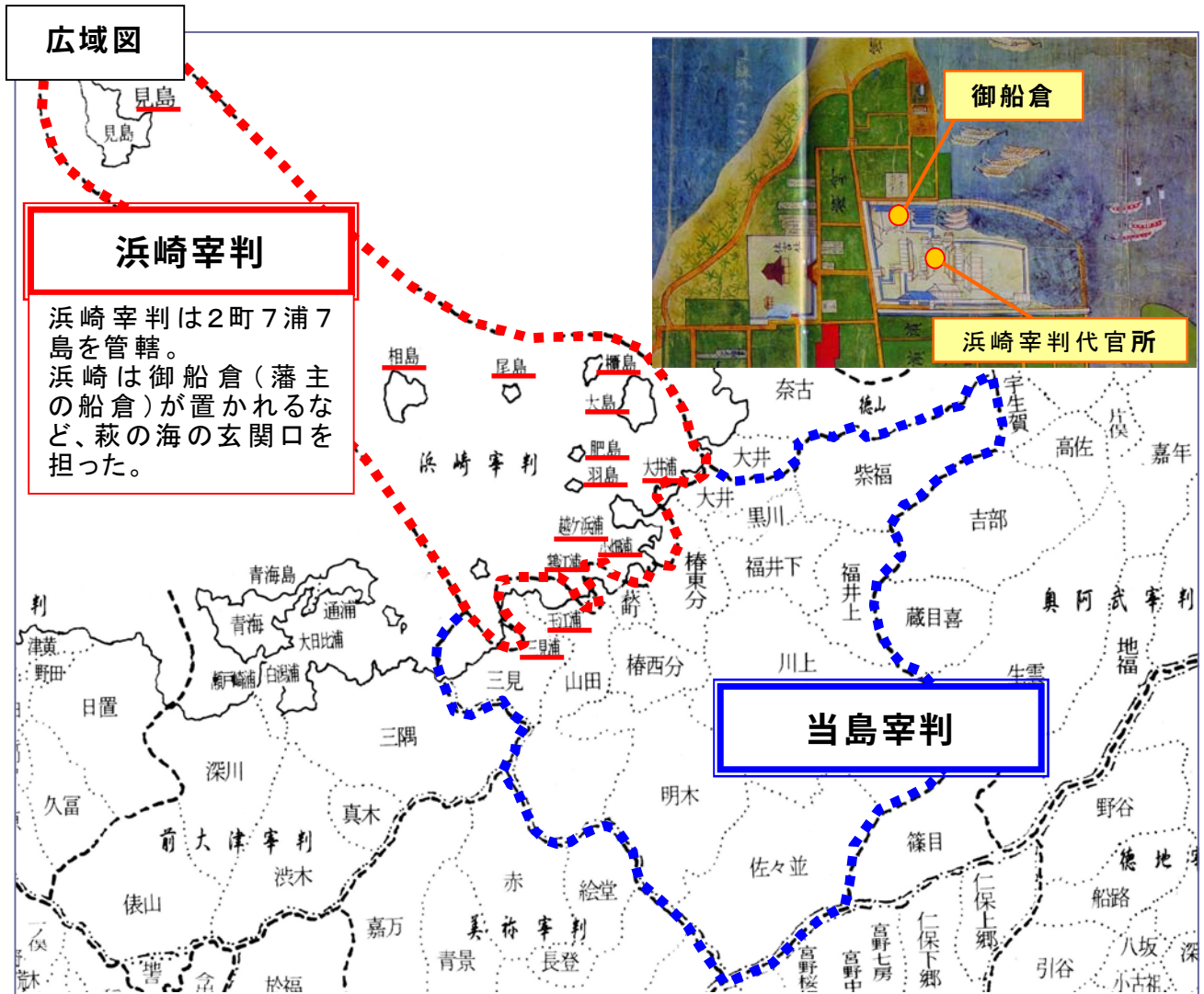


萩城下町絵図 (安政元~2 年 (1854~55) 作成)

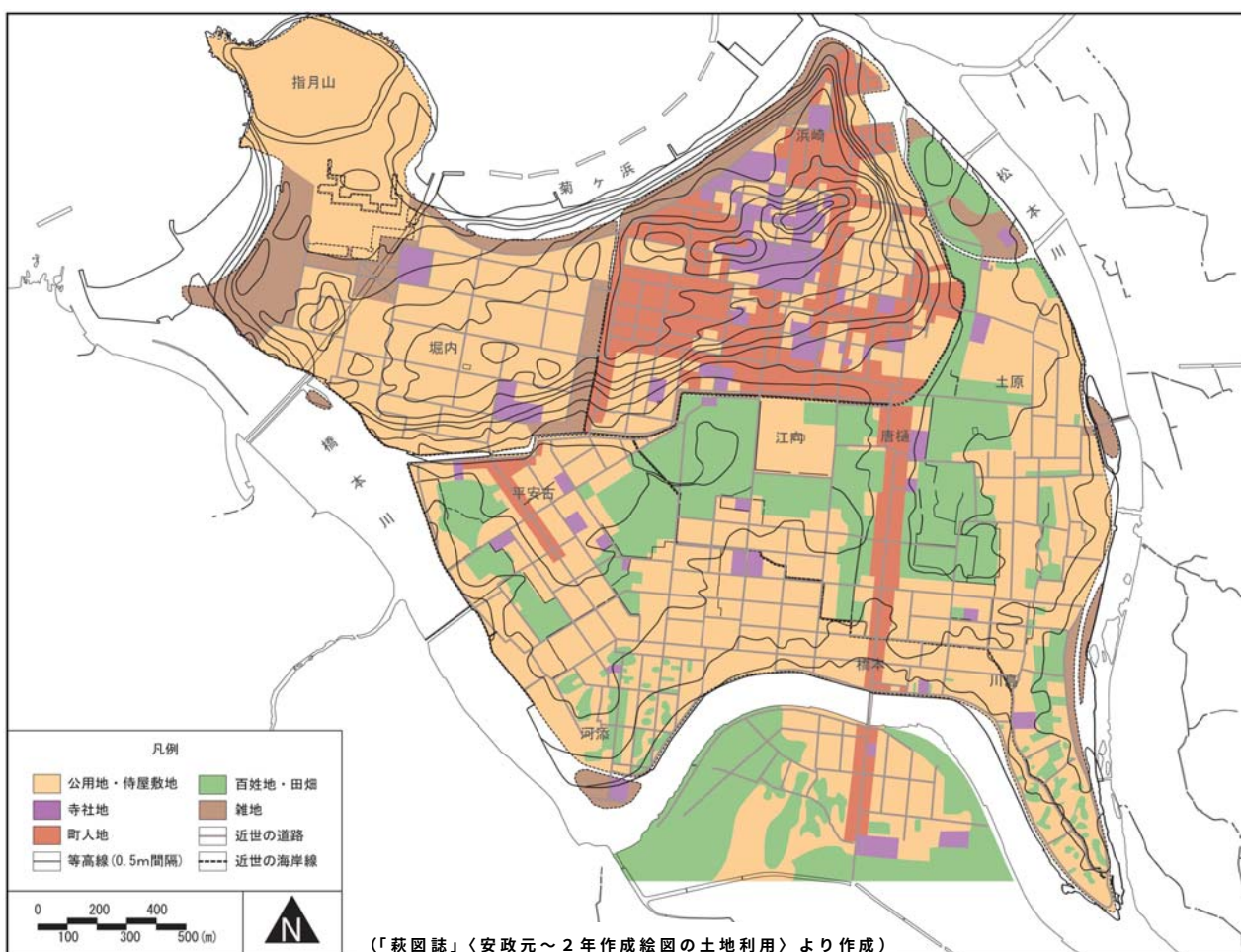
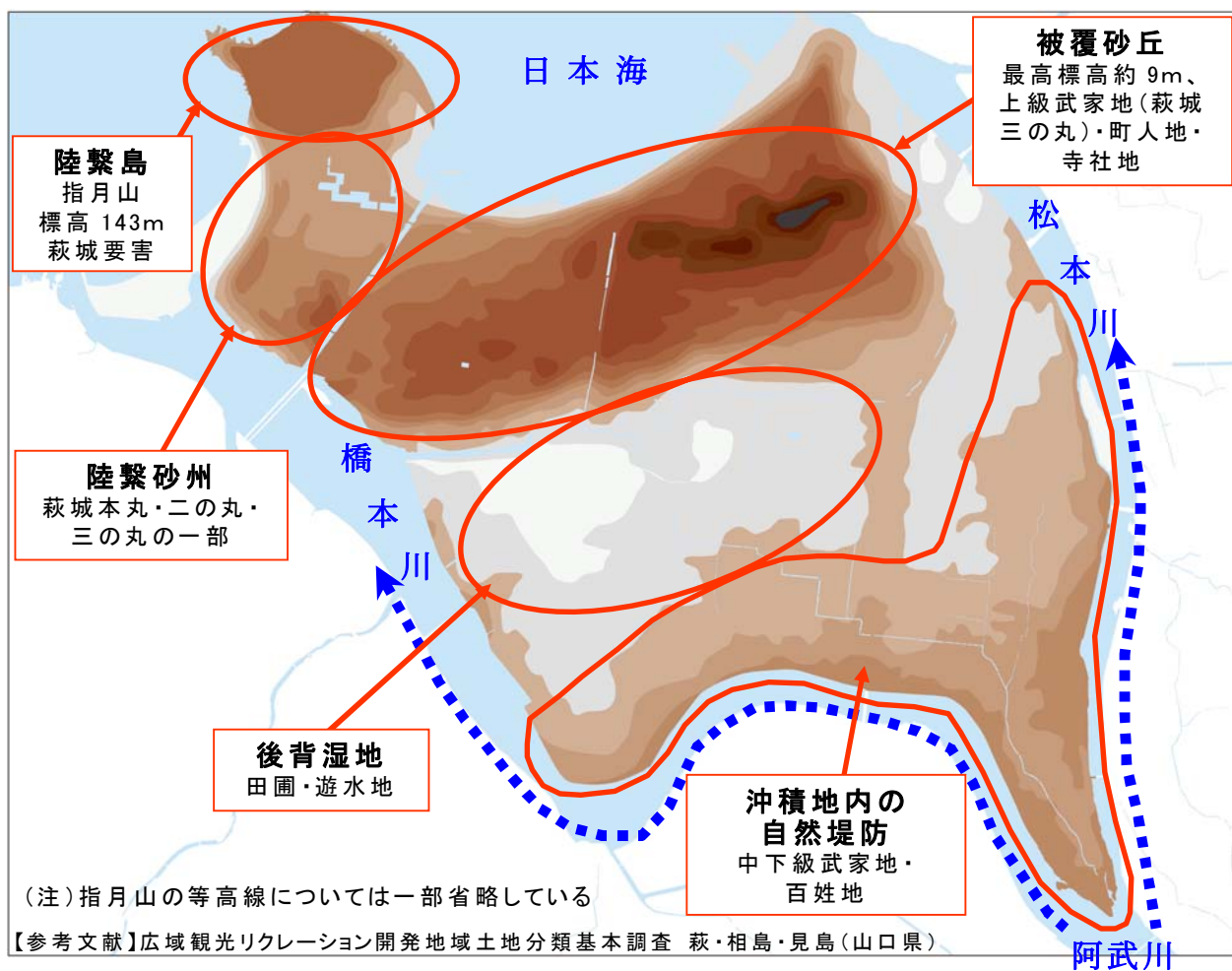


鉄砲札: 「此所より萩の方諸獵停止の鉄砲札」、「是より萩の方鉄砲停止の札」
(『地下上申』)

萩城下周辺の行政区域図



三角州の自然地形に配慮した計画的土地利用説明図

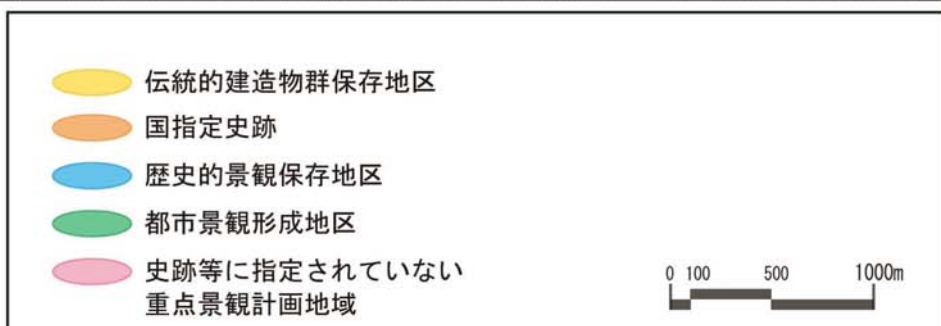
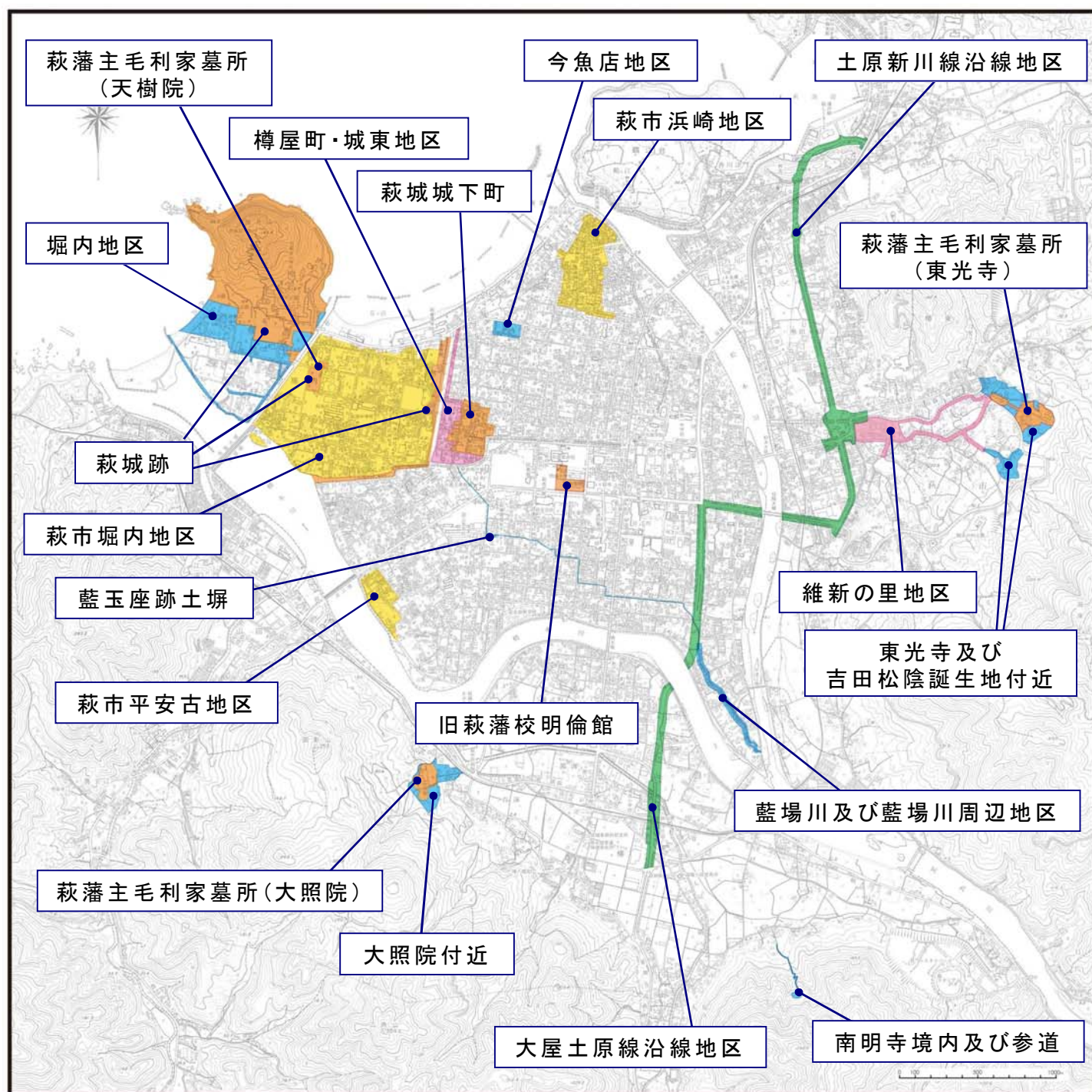


萩城下町絵図と現在の萩の町割との比較図



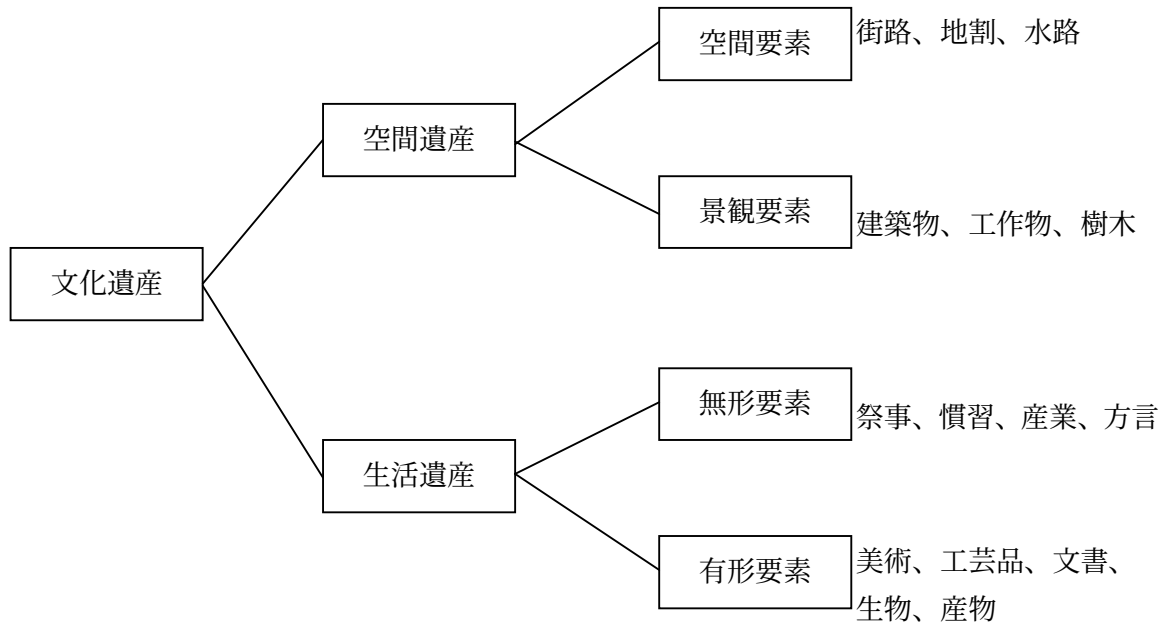
萩城下町絵図（安政元～2年（1854～55）作成）に現在の萩の町割（白抜き）を重ね合わせたもの

史跡・重要伝統的建造物群保存地区等の区域図



都市遺産と文化遺産

○文化遺産の分類



○空間遺産

不動産として土地に根を下ろして動かない遺産であり、**空間要素**と**景観要素**に分けられる。

「空間要素」とは、道路や地割、河川、水路といった空間を規定する地図上で確認できる要素で、「景観要素」とは、この空間要素の存在を可視的に証拠付けるもののうち、地域景観の特性をよく示している建築物や工作物、護岸石積、樹木などの要素のこと。

○生活遺産

動産的な性格を持つ遺産であり、祭事や慣習、産業、産物、古くからの地名や萩ことば（方言）などに着目した民俗的な遺産、美術・工芸品や文書、絵図などに着目した芸術的な遺産、自然環境や市民とのかかわりを持つ生物に着目した遺産、資料・文献などモノやコトの記録に着目した遺産などで、目に見えないコトを**無形要素**、目に見える又は手にすることができるモノを**有形要素**として分類する。

○都市遺産と文化遺産

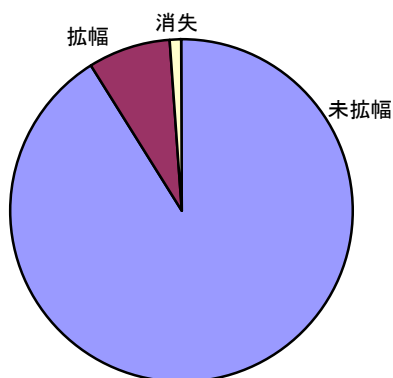
地域には、地域の歴史や文化、自然や民俗等に関わる物語（ストーリー）があり、この物語とそれを証拠づける文化遺産の一つの集まりをテーマごとに総称して「都市遺産」と呼ぶ。

近世由来街路の残存状況

1 近世由来街路総延長からみる近世由来街路の残存率

未拡幅街路延長÷近世由来街路総延長＝91%

変化の種類	距離	割合
未拡幅	63,635.71	91%
拡幅	5,463.51	8%
消失	698.72	1%
近世由来街路総延長	69,797.94	(m)



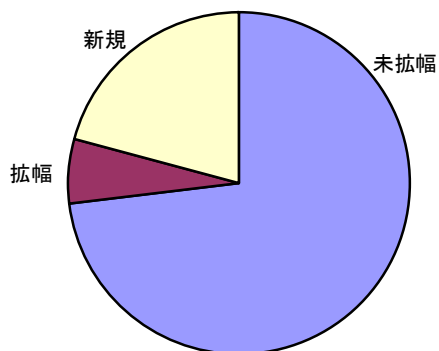
2 現在の街路総延長からみる近世由来街路の残存率

未拡幅街路延長÷現在の街路総延長＝ 73%

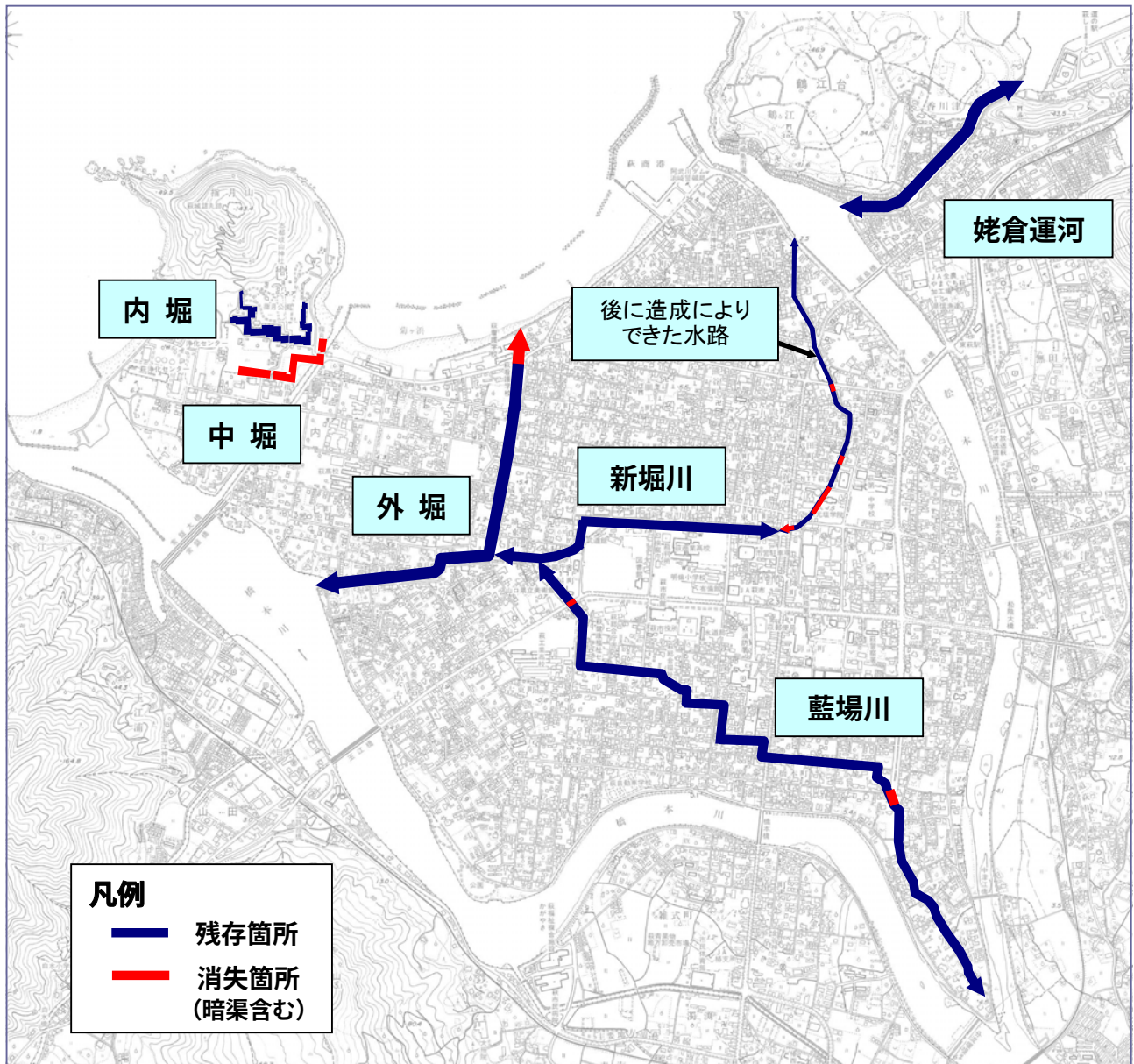
近世由来街路延長÷現在の街路総延長＝79%

※近世由来街路延長＝未拡幅＋拡幅

変化の種類	距離	割合
未拡幅	63,635.71	73%
拡幅	5,463.51	6%
新規	18,092.86	21%
現在の街路総延長	87,192.08	(m)



近世由来の開削水路の残存状況



開削水路ごとの残存率

	残存率	総延長	残存延長	備 考
内 堀	100%	602m	602m	
中 堀	0%	461m	0m	※復元可能
外 堀	90%	1,458m	1,314m	
新 堀 川	100%	1,132m	1,132m	造成によりできた水路部分の総延長は 1,191m、残存率は 80%。
藍 場 川	97%	2,572m	2,500m	
姥倉運河	100%	835m	835m	

(注) 延長は現在の数値を用いているため、当時の文献上の数値とは異なる。

伝統的建築物等の残存状況

2004年度卒業論文

「文化遺産データベース構築に向けた景観要素の変容に関する研究—山口県萩市を対象として—」(抜粋)

九州芸術工科大学 芸術工学部 環境設計学科 都市環境設計室 吉村重昭

2003年3月～2004年11月調査

建築類型別でみた伝統的建築物の総数と消失数 ()内は%

	完全消失数	部分消失数	残存数	総数
町家型	90 (10.8)	1 (0.1)	<u>740 (89.1)</u>	831 (100.0)
屋敷型	66 (11.8)	0 (0.0)	<u>494 (88.2)</u>	560 (100.0)
長屋・長屋門	9 (9.7)	3 (3.2)	<u>81 (87.1)</u>	93 (100.0)
寺社型	1 (1.0)	0 (0.0)	<u>99 (99.0)</u>	100 (100.0)
洋風型	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (100.0)	5 (100.0)
その他	0 (0.0)	0 (0.0)	15 (100.0)	15 (100.0)
全 体	166 (10.3)	4 (0.3)	1,434 (89.4)	1,604 (100.0)

上記の表から、

- ・ 屋敷型建造物及び土堀・門の残存数 = $494 + 81 = 575 \Rightarrow$ 約570棟
- ・ 町家型建造物の残存数 = $740 \Rightarrow$ 約740棟

萩城下町全体の中の町人地全域に残存する伝統的町家建築の残存密度

60.8haに740棟⇒12.2棟/ha

※町人地の面積(60.8ha)は「萩図誌(安政元～2年作成絵図の土地利用)」から算出。

参考文献

- ・ 萩市史編纂委員会編『萩市史第一巻』萩市 1983 年
- ・ 萩市史編纂委員会編『萩市史第二巻』萩市 1989 年
- ・ 萩市史編纂委員会編『萩市史第三巻』萩市 1987 年
- ・ 萩市教育委員会編『萩城外堀発掘調査報告書』萩市教育委員会 1988 年
- ・ 萩市教育委員会編『史跡萩城跡・萩城城下町保存管理計画策定事業報告書』萩市教育委員会 1991 年
- ・ 萩ものがたり編集部編『萩市の文化財』萩市 2005 年
- ・ 『萩図誌』萩青年会議所 1978 年
- ・ 『歴史群像名城シリーズ⑭ 萩城』学習研究社 1997 年
- ・ 小川国治編『山口県の歴史』山川出版社 1998 年
- ・ 八木 充編『図説 山口県の歴史』河出書房新社 1998 年
- ・ 『朝日百科・日本の国宝別冊 国宝と歴史の旅 5 城と城下町』朝日新聞社 2000 年
- ・ 吉田伸之「近世の城下町・江戸から金沢へ」『日本の歴史・別冊 歴史の読み方 2 都市と景観の読み方』朝日新聞社 1988 年
- ・ 西山徳明「城下町から都市遺産へ」『週刊日本遺産 14 萩 津和野』朝日新聞社 2003 年
- ・ 高橋康夫・吉田伸之・宮本雅明・伊藤 毅編『図集 日本都市史』東京大学出版会 1993 年
- ・ 宮本雅明「城下町の空間類型」『年報 都市史研究 2 城下町の類型』山川出版社 1994 年
- ・ 宮本雅明「象徴性と公共性の都市史—日本近世都市の歴史・空間・景観」『シリーズ都市・建築・歴史 5 近世都市の成立』東京大学出版会 2005 年
- ・ 吉田伸之編『日本の近世第 9 巻 都市の時代』中央公論社 1992 年
- ・ 田中誠二「藩からみた近世初期の幕藩関係」『日本史研究 356』日本史研究会 1992 年
- ・ 小島道裕「近世城下町の成立」『城の語る日本史』朝日新聞社 1996 年
- ・ 佐藤 滋『城下町の近代都市づくり』鹿島出版社 1996 年
- ・ 「角川日本地名大辞典」編纂委員会編『角川日本地名大辞典 35 山口県』角川書店 1988 年
- ・ 西山徳明『萩まちじゅう博物館』萩ものがたり 2004 年
- ・ 萩博物館編『萩博物館展示案内』萩博物館 2004 年
- ・ 萩博物館編『萩のまちは屋根のない博物館 萩博物館展示案内』萩博物館 2006 年
- ・ 佐藤 滋『図説 城下町都市』鹿島出版社 2002 年
- ・ 『萩堀内平安古—萩市〔堀内・平安古地区〕伝統的建造物群保存対策調査報告』萩市教育委員会 1986 年
- ・ 『萩 堀内・平安古—萩市〔堀内・平安古地区〕伝統的建造物群保存地区見直し調査報告』萩市まちなみ対策課 2004 年
- ・ 『萩浜崎—萩市〔浜崎地区〕伝統的建造物群保存対策調査報告（増補版）』萩市都市計画課 2001 年
- ・ 『重要文化財熊谷家住宅（主屋・宝蔵）修理工事報告書』財団法人熊谷美術館 1980 年
- ・ 『重要文化財熊谷家住宅離れ座敷ほか 3 棟保存修理工事報告書』財団法人熊谷美術館 1997 年
- ・ 『重要伝統的建造物群保存地区（萩市平安古地区）旧田中別邸保存修理工事報告書』萩市 2001 年
- ・ 『史跡旧萩藩校明倫館（南門）保存修理工事報告書』萩市 2006 年
- ・ 『史跡木戸孝允旧宅保存修理工事報告書』萩市 1997 年
- ・ 『史跡萩城城下町（旧久保田家）保存修理工事報告書』萩市 2005 年
- ・ 『重要文化財東光寺鐘楼・三門・総門・大雄宝殿保存修理工事報告書』宗教法人東光寺 1993 年
- ・ 『重要文化財菊屋家住宅保存修理工事報告書』菊屋嘉十郎 1981 年
- ・ 『史跡萩城城下町（菊屋家旧宅）修理工事報告書』菊屋榮子 1983 年
- ・ 『史跡萩城城下町（菊屋家住宅）保存修理工事報告書』財団法人菊屋家住宅保存会 1991 年
- ・ 『史跡萩城跡旧周布家長屋門保存修理工事報告書』萩市 1973 年
- ・ 『史跡明倫館水練池及び有備館附明倫館碑保存修理工事報告書』萩市 1970 年
- ・ 『重要文化財旧厚狭毛利家萩屋敷長屋保存修理工事報告書』萩市 1968 年
- ・ 『史跡旧萩藩御船倉保存修理工事報告書』萩市 1972 年
- ・ 『重要文化財常念寺表門修理工事報告書』重要文化財常念寺修理委員会 1971 年
- ・ 『重要文化財口羽家住宅（主屋表門）修理工事報告書』口羽良通 1979 年
- ・ 『重要伝統的建造物群保存地区（萩市平安古地区）旧田中別邸保存修理工事報告書』萩市 2001 年
- ・ 『霊椿山大照院伽藍調査報告書』萩市教育委員会 2001 年

- ・ 『史跡萩城跡（東園地区）整備計画策定報告書』萩市教育委員会 1990 年
- ・ 『歴史の道調査報告書（萩往還）』山口県文化財愛護協会 1981 年
- ・ 『山口県の近世社寺建築 近世社寺建築緊急調査報告書』山口県教育委員会 1980 年
- ・ 『山口県埋蔵文化財センター調査報告 第 27 集 萩城跡（外堀地区）Ⅰ』山口県埋蔵文化財センター 2002 年
- ・ 『山口県埋蔵文化財センター調査報告 第 46 集 萩城跡（外堀地区）Ⅱ』山口県埋蔵文化財センター 2004 年
- ・ 『山口県埋蔵文化財センター調査報告 第 52 集 萩城跡（外堀地区）Ⅲ』山口県埋蔵文化財センター 2006 年
- ・ 『萩まちじゅう博物館 基本計画・行動計画』萩市 2005 年
- ・ 『都市集住様式の歴史的研究 Ⅲ（萩の場合）』財団法人新住宅普及会・住宅建築研究所 1978 年
- ・ 山口大学工学部感性デザイン工学科建築・都市史研究室『萩・御成道沿いの町屋―森井家住宅―調査報告書』森井緑朗 2003 年
- ・ 山口県企画部企画開発課編『広域観光リレーション開発地域土地分類基本調査 萩・相島・見島』山口県企画部企画開発課 1977 年